

令和8年度 第1回

介護予防・活躍推進に関する会議 認知症施策推進に関する会議

資 料 2

(2) 介護予防・活躍推進に関する会議での検討事項について

北九州市しあわせ長寿プラン

介護予防事業等の取組状況について

北九州市しあわせ長寿プラン 介護予防事業等の取組状況について

目標１ 目指そう 活力ある１００年～健康長寿～

施策の方向性２ 生涯を通じた健康づくり・介護予防

１ 健康寿命延伸を目指した健康づくり・介護予防の促進

○：実績等が達成指標等にあるもの

No	取組	概要							
39	健康づくり・介護予防に関する知識等の普及啓発 (保健福祉局長寿社会対策推進室)	介護予防に関する正しい知識を普及啓発するため、リーフレット等の作成・配布、ホームページ等様々な媒体を活用した情報発信、個別の相談会や有識者による講演会等を開催します。 また、高齢者が効果的に介護予防活動に取り組むことができるよう、運動・栄養・口腔等に係る各種介護予防教室を開催し、地域で取り組む介護予防活動のきっかけづくりを支援します。							
	健康づくり・介護予防教室の参加者数	R4	3,124 人	R5	4,046 人	R6	8,376 人	R7	6,883 人
40	通いの場における健康づくりの強化 (保健福祉局地域福祉推進課、長寿社会対策推進室)	高齢者が要支援・要介護状態になることの予防を目的に、地域の通いの場において専門職による健康教育・健康相談を実施するとともに、地域での自主的な介護予防活動を支援します。地域包括支援センターでは、高齢者サロンや老人クラブ等に出向いて、高齢者いきいき相談（巡回相談）と健康教育や保健指導を一体的に実施し、高齢者の生活習慣病の予防や重症化予防に取り組みます。							
	通いの場等への専門職の関与回数	R4	703 回	R5	823 回	R6	966 回	R7	985 回
	巡回相談の実施回数	R4	60 回	R5	85 回	R6	90 回	R7	87 回
41	生活習慣病予防・重症化予防のための健康教育の実施 (保健福祉局健康推進課)	生活習慣病予防・重症化予防について、正しい知識の普及と健康意識の向上のために区役所等で集団健康教育を行います。また、生活習慣の改善等が必要な方に対して生活習慣病の予防・重症化予防のために個別健康教育を行い、長期的な認知症の予防につなげます。							
	開催回数	R4	1,387 回	R5	1,375 回	R6	1,038 回	R7	832 回
	参加延べ数	R4	8,066 人	R5	7,969 人	R6	6,588 人	R7	7,325 人

42	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進 (保健福祉局健康推進課、長寿社会対策推進室)	高齢者の心身の特性をふまえ生活習慣病の重症化予防と介護予防を一体的に取り組み、健康寿命の延伸と社会保障の安定を目指します。専門職が通いの場へ出向き、住民主体で継続的に介護予防に取り組むことができるように、フレイルや生活習慣病の重症化予防に関する健康教育、健康相談を実施します。また、健診受診結果や通いの場で把握した重点的に支援が必要な高齢者に対して、専門職が家庭訪問等により保健指導を行います。							
	後期高齢者健診受診率	R4	14.06%	R5	17.47%	R6	18.47%	R7	集計中
	後期高齢者歯科健診受診率	R4	8.1%	R5	7.23%	R6	6.43%	R7	6.38%
	運動機能の低下 (歩行、転倒の状態) リスクの高い人の割合	R4	40.2%	R7 調査				R7	37.8%
	咀嚼機能の低下リスクがある人の割合	R4	45.2%	R7 調査				R7	44.1%
	低栄養のリスクがある人の割合	R4	9.4%	R7 調査				R7	10.1%
43	健康に関する正しい知識の普及啓発 (保健福祉局健康推進課)	市民の健康への関心を高めるため、そして、市民一人ひとりが健康に関する正しい情報を取り入れ、理解し、活用することができるよう、講演会や啓発イベント等を開催します。							
	講演会等でのアンケートにおいて、「健康への関心が高まった」等と回答した者の割合	R4	-	R5	79.90%	R6	84.2%	R7	83.8%
44	健康診査（がん検診等）の実施 (保健福祉局健康推進課)	健康増進法に基づく各種がん検診の実施により、がんを早期に発見し、早期に治療へつなぎ、がんによる死亡率の減少を図ります。また、基本健診や骨粗しょう症検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療及び重症化の予防を図ります。							
	北九州市健康づくり及び食育に関する実態調査における 40～69 歳（子宮頸がんは 20～69 歳、骨粗しょう症は健康増進法上の対象年齢女性）のがん検診受診率								
	胃がん	R4	27.0%	R9 調査予定					
	大腸がん	R4	26.0%	R9 調査予定					
	肺がん	R4	20.5%	R9 調査予定					
	子宮頸がん	R4	32.1%	R9 調査予定					
	乳がん	R4	36.6%	R9 調査予定					
骨粗しょう症検診受診率（健康増進法上の対象年齢女性の受診率）	R4	1.1%	R5	1.2%	R6	1.4%	R7	集計中	

45	歯科口腔保健の推進 （保健福祉局健康推進課、長寿社会対策推進室）	歯科健(検)診の実施や歯科受診勧奨、口腔と全身の健康の関連等に関する正しい知識の普及・啓発等により、歯科疾患の予防・重症化予防及び口腔機能の維持・向上を図り、健康で質の高い生活のための歯科口腔保健を推進します。							
	65 歳以上における口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている人の割合	R4	54.1%	R9 調査予定					
	かかりつけ歯科医がいる者の割合 （一般高齢者）	R4	77.9%	R7 調査			R7	78.9%	
	かかりつけ歯科医がいる者の割合 （在宅高齢者）	R4	73.6%	R7 調査			R7	70.7%	
	咀嚼機能の低下リスクがある人の割合	R4	45.2%	R7 調査			R7	44.1%	
46	北九州市国民健康保険の特定健診・特定保健指導の実施 （保健福祉局健康推進課）	北九州市国民健康保険に加入する 40～74 歳を対象に、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍を減少させることを目的として、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を実施します。また、健診の結果、生活習慣の改善が必要な対象者への特定保健指導を実施します。							
	特定健診受診率	R4	35.2%	R5	35.6%	R6	34.8%	R7	34.8% （暫定値）
	特定保健指導実施率	R4	20.2%	R5	20.8%	R6	21.6%	R7	集計中
47	地域交流センター （隣保館）での生きがい講座の実施 （保健福祉局同和対策課）	地域交流センター（隣保館）において、地域の高齢者を対象に、生きがいづくり、健康づくり等を支援することによって、介護の予防や自立助長を図ります。							
	実施回数 （地域交流センター9 館合計）	R4	398 回	R5	411 回	R6	451 回	R7	402 回

2 地域で主体的・継続的に取り組める仕組みづくり

○：実績等が達成指標等にあるもの

No	取組	概要							
48	地域リハビリテーション活動の支援 （サロンで健康づくり等） （保健福祉局長寿社会対策推進室）	地域における介護予防の取組みを機能強化するために、地域の住民主体の通いの場等に、運動・栄養・口腔分野の専門職等を派遣し、自立支援と地域づくりの視点から、効果的な介護予防技術を提供し、住民のスキルアップを図ります。							
	通いの場等への専門職の関与回数	R4	703 回	R5	823 回	R6	966 回	R7	985 回
49	健康づくり推進員の養成と活動支援 （保健福祉局長寿社会対策推進室）	地域における健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーとなる健康づくり推進員を養成します。また、健康づくり推進員が行う健康づくりや介護予防の普及啓発活動を支援します。							
	健康づくり推進員の活動への参加者数	R4	260,576 人	R5	263,068 人	R6	277,268 人	R7	327,504 人
50	食生活改善推進員による訪問活動 （保健福祉局長寿社会対策推進室）	食生活改善推進員を対象に食育アドバイザーを養成し、高齢者宅を訪問して、食事等に関する状況確認や助言を行うとともに、虚弱者を把握し、必要な支援につなげます。							
	低栄養のリスクがある人の割合	R4	9.4%	R7 調査				R7	10.1%
51	介護予防リーダー（普及員）の育成・支援 （保健福祉局長寿社会対策推進室）	地域で介護予防活動を推進する介護予防リーダー（普及員）を育成し、活動を支援します。また、高齢者の特性等を理解し、適正かつ効果的な運動指導ができる人材を育成するための研修会を開催します。							
	介護予防リーダー（普及員）の登録者数	R4	991 人	R5	1,020 人	R6	1,049 人	R7	1,064 人

52	専門職による地域の介護予防活動の支援 (保健福祉局長寿社会対策推進室)	「いつもの活動に運動プラス」を合言葉に、住民主体の通いの場で、きたきゅう体操等の運動習慣の定着を促し、住民の健康づくり意識の向上を図るとともに、仲間と一緒に取り組む介護予防活動を支援します。							
	通いの場等への専門職の関与回数	R4	703 回	R5	823 回	R6	966 回	R7	985 回
53	介護予防・自立支援のための総合プログラムの実施 (保健福祉局長寿社会対策推進室)	主として要介護状態等となるおそれがある、または要介護状態から改善した高齢者を対象に、市民センターで介護予防・自立支援や生きがい活動に関する総合的なプログラムを実施する事により、介護予防・自立支援の普及啓発を行います。							
	延べ開催回数	R4	4,436 回	R5	4,431 回	R6	4,252 回	R7	4,334 回
54	住民主体による居場所づくり (保健福祉局地域福祉推進課)	社会福祉協議会が実施してきたサロンに加え、NP0 やボランティア団体等が行う、地域交流の「居場所」づくりを助成対象とし、住民主体による生きがい・健康づくりにつながる居場所づくりを推進します。							
	サロン助成団体数(校(地)区社協、NP0 団体等)	R4	356 箇所	R5	400 箇所	R6	461 箇所	R7	474 箇所
55	地域で GO!GO!健康づくり (保健福祉局健康推進課)	まちづくり協議会が、市民センター等を拠点として、健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会と連携し、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政(保健師等)などの協力により、市民が主体となって地域の健康課題について話し合い、目標設定、計画づくり、実践、事業評価を一つのサイクルとした健康づくり事業(地域で GO!GO!健康づくり)を行います。							
	地域の健康課題に沿った取組みを実施している団体	R4	—	R5	—	R6	100%	R7	100%
56	食生活改善推進員の養成・活動の支援 (保健福祉局健康推進課、長寿社会対策推進室)	北九州市食生活改善推進員協議会が実施する「ふれあい昼食交流会(一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯を対象に食事を通じたふれあいの場を提供)」に対して補助金の交付及び献立作成、調理衛生指導等の支援をする。また、食生活改善推進員が行う地域での食と健康等に関する情報発信や、健康料理普及講習会、ふれあい昼食交流会などの活動を支援します。							
	「ふれあい昼食交流会」の参加者数	R4	18,278 人	R5	21,481 人	R6	21,750 人	R7	22,061 人
	食生活改善推進員が関わる活動への参加者数	R4	80,726 人	R5	109,699 人	R6	135,779 人	R7	122,808 人

57	公園を活用した健康づくり(保健福祉局健康推進課、長寿社会対策推進室、都市整備局公園管理課)	身近な公園に整備したウォーキング園路や健康遊具を活用し、市民の健康づくりを推進する。							
	65 歳以上の運動習慣のある人の増加（男性）	R4	41.8%	R9 調査予定					
	65 歳以上の運動習慣のある人の増加（女性）	R4	47.3%	R9 調査予定					
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少	R4	34.9%	R5	-	R6	34.8%	R7	R8 年 11 月 法定報告 値が確定
再 117	リハビリテーション専門職の地域派遣 (保健福祉局地域リハビリテーション推進課)	医療機関等のリハビリテーション専門職を、住民が運営する地域活動等に派遣し、一人ひとりの身体機能や生活環境に合った効果的な介護予防の方法について助言・指導等を行います。							
	派遣回数	R4	-	R5	498 回	R6	513 回	R7	676 回